

学びと誇りが実感できるまち

～いよいよ英語科の開始！～

令和2年3月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人



鶯や柳のうしろ藪の前

(松尾芭蕉)

今年も「庄原市児童生徒詩文集 さとやま」を発刊しました。今回で第15号となりましたが、日頃から言語力と感性を磨いてきた児童生徒の作品が多数掲載されています。内容は、意見文や生活文をはじめ、詩や俳句、読書感想文など、自分が思ったこと、感じたこと、考えたことなど、素直な気持ちを自分の言葉で、表現力豊かに綴っています。これからも心の内面をしっかりと伝えることができるよう「書く学習」に力を入れていきます。

さて、今回は、4月から小学校において全面実施となります第5学年及び第6学年の外国語科（英語科）の学習ポイントについて紹介します。

第5学年及び第6学年 外国語科（英語科）（年間70時間）

目 標	英語を「聞くこと」「話すこと（やり取り・発表）」「読むこと」「書くこと」の言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。 ※ まずは英語を聞いたり話したりする活動をしっかりとする。 その上で、読んだり書いたりする活動に取り組む。	
主な学習内容・活動	聞くこと	○ 身近で簡単なことについて、具体的な情報を聞き取ったり、短い話の概要を捉えたりする。
	話すこと（やり取り）	○ 自分の考えや気持ちを伝え合う。 ○ 自分で考えて質問したり答えたりして伝え合う。 ※ 簡単な語句や基本的な表現を用いてのやり取りではあるが、 <u>その場で</u> 伝え合う。
	話すこと（発表）	○ 自分のことや学校生活、地域に関することなどについて伝えたいことを整理して話す。
	読むこと	○ 大文字や小文字のアルファベットを見て正しく読む。 ○ 文字のもつ音などを手掛かりにしながら意味を推測して読む。
書くこと	○ 大文字、小文字を活字体で書く。 ○ 例文を見て、語順を意識しながら、その通りに書き写す。 ○ 例文を参考にして、自分の表現したい内容を書く。 ※ 英語を書く場合、つづりを覚えて書くのではなく、自分の考えや気持ちに合った語句や表現を選んで書く。	
教 材	教科書使用 600～700語の活用	

なお、外国語（英語）活動を、第1学年及び第2学年では、年間10時間程度、第3学年及び第4学年では、年間35時間行っています。英語活動を通してコミュニケーションの楽しさやその素地となる資質・能力を育成します。教師や友達のサポートを受けながら英語を使ったやり取りができるように学習します。